

園児が日本一の生産量スチューベンを収穫

9月22日（金）、つるのこ保育園の園児が長内敏さんの観光ぶどう園を訪れ、旬を迎えたスチューベンの収穫を体験しました。

園児たちは長内さんから収穫方法を教わり、たわわに実ったスチューベンを収穫。その場でもぎたてのスチューベンを味わっていました。収穫を行った園児たちは「収穫楽しかった。すごく甘くておいしいです」と笑顔で話していました。

今年の出来について長内さんは「猛暑の影響はあまりなく、甘さが濃縮したおいしいぶどうに仕上がった」と話していました。



もぎたてのスチューベンを味わった園児たち



相川町長から対象者に顕彰状が贈られました

長寿を祝う敬老会が開催されました

9月20日（水）、町国際交流会館で鶴田町敬老会が開催され、出席者約160人が長寿を祝いました。

新型コロナの影響で今回4年ぶりの開催となった鶴田町敬老会。今年度の対象となった最高年齢長寿者や88歳到達者130人のうち、当日参加された方々に町長から顕彰状が贈られました。

また、今年度100歳到達者6名には内閣総理大臣お祝い状および青森県知事顕彰状が、88歳到達夫婦10組には青森県知事顕彰状がそれぞれ伝達されました。

町消防団が内閣総理大臣表彰を受賞

鶴田町消防団（下山正彦団長）が令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。

令和4年8月の大雨の際に消防団員延べ373名が出動し、河川氾濫を防ぐために積み土のう工を行ったほか、道路の排水作業等を行い人的被害を出さなかったことが評価されました。

下山団長は「今回の受賞はこれまでの諸先輩方の町を守る強い意思が、今の団員に引き継がれている証だと思う。近年の災害は激甚化・頻発化しているが、それに即時対応できる消防団作りを目指していきたい。また、全国的にも消防団員が減少傾向にあるので、一緒に活動してくれる方を随時募集しています」と思いを語りました。



相川町長（右）へ受賞報告を行った下山団長（左）



Vol.59（筆：葛西忍）

ただいま収穫最盛期を迎え、収穫作業、選果作業に奮闘中です。スチューベンの甘さ、美味しさに改めて感動しております。

さて、そんなスチューベンを美味しく味わう食べ方とは。つまり、ぶどうを呑むのか、かじるのか。呑むとぶどうの喉越しを味わえます。けれど、3粒ぐらいでもう食べられなくなってしまうという私の弱い喉。逆に噛むと甘さと酸味が混然一体。けれど種のまわりが酸っぱくて…。

というわけで、第三の選択肢を。呑まないし、噛まない。ひたすら「しなぶる」のみ！をご提案。

そうすれば皮のまわりの果肉、種のまわりの果肉、ぶどう一粒すべてを甘いまま味わいつくせます。まさにジュシー。しかもお腹いっぱい食べられます。とは言え、一つの食べ方に捉われず、その日の気分に合わせて味わい方を変えられるスチューベン。好きです。



▲スチューベンの収穫作業を行う葛西さん



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



本番を想定して行われた引き渡し訓練のようす

緊急時に備えて引き渡し訓練を実施

鶴田小学校で9月28日（木）、緊急時の保護者への児童引き渡し訓練が行われました。

自然災害や事件・事故等の緊急事態が発生した場合に、保護者へ子どもたちを円滑に引き渡し、子どもたちの安全を確保するために、今回初めて引き渡し訓練が行われました。

今回の訓練は豪雨による岩木川の氾濫を想定。訓練が始まると児童たちは体育館に集合し、おしゃべりなどをせずに緊張感を持って訓練に臨んでいました。学校によると、問題など起きずに想定よりもスムーズに保護者への引き渡しができそうです。

秋のめぐみ盗難防止を呼びかけ

9月29日（金）実りの秋を迎え、これから収穫が始まる農作物の盗難防止のため、鶴田町防犯協会連絡協議会による農作物盗難防止パトロールが行われました。防犯協会・警察・町が鶴田町内を広報車でまわり、生産者に対して、盗難被害防止の注意喚起を行いました。

また、町では農作物盗難防止の施策の1つとして、今年度より町農家を対象に、農業用防犯カメラ購入費用の補助事業を始めています。



パトロール前の出発式のようす



3年間の任期を終了した川口さん

町地域おこし協力隊川口さん任期終了

9月28日（金）、町地域おこし協力隊として活動してきた川口翔太さんが3年間の任期を満了しました。

川口さんは「町内外の交流事業を創出する」というミッションのもと、町内外の人が関わることができるイベントの企画・運営や鶴田町のPRなどに尽力してくれました。任期終了後も鶴田町に定住し、町内で弟が経営している飲食店を手伝うかたわら、町地域おこし協力隊OBとして、現役の隊員のサポート活動を行う予定です。

川口さんは「任期中にできたつながりを大切に、新しいことに挑戦していき住みよい町にできたら」と意気込みを話していました。

第31回青森県民駅伝競走大会 ～健脚でつなげ郷土の和と心～

9月3日（日）、青森市で第31回青森県民駅伝競走大会が4年ぶりに市街地コースで開催され、県内40市町村のランナーが健脚を競い合いました。

鶴田町からは、下記の9名の選手が出場しました。選手たちは日頃から鍛え上げてた健脚でたすきをつなぎ、9区間・26.1kmのコースを走り抜けました。

区間・距離	氏名
第1区 3.8km 男子（高校生以上）	齋藤 恵一
第2区 1.1km 男子（小学生）	佐々木 峻
第3区 1.1km 女子（小学生）	長内 百桜
第4区 5.0km 男子（高校生以上）	安田 柚希
第5区 3.4km 男子（中学生）	奈良 健汰
第6区 3.1km 女子（中学生以上）	棟方 怜良
第7区 4.4km 男子（高校生以上）	池田 大助
第8区 1.7km 女子（中学生以上）	鈴木 日和
第8区 2.5km 男子（中学生）	福田 歩

総合タイム：1時間45分47秒 市町村の部 33位 町の部 19位

